

平成 25 年度牧之原市民意識調査結果（一部抜粋）について

1 調査の概要

- ・ 目 的 市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政へ反映させるとともに、平成 27 年度から実施する第 2 次総合計画策定のための基礎資料とする。
- ・ 調査期間 平成 25 年 7 月 12 日～ 7 月 26 日
- ・ 対 象 16 歳以上の市民 1,400 人を無作為抽出
（前回までは 20 歳以上 1,300 人）
- ・ 実施方法 郵送による調査票配布及び回収（回答は無記名）
- ・ 発送数 1,393 人（転居等による不達分 7 通）
- ・ 有効回収数 858 人（前回 530 人）
- ・ 有効回収率 61.6%（前回 40.9%）
- ・ 経 過 平成 19 年度から実施し、今回調査で 6 回目

2 調査結果（一部抜粋）

（ 1 ）今お住まいの場所に今後とも住みたいと思いますか？（報告書 P7）

「住みたい」は 59.9%となり、昨年度（60.0%）とほぼ同じであった一方、「市外へ移りたい」は 18.4%となり、昨年度より 2.0%低くなっている。市外・市内の他の場所へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 64.2%と最も高くなっている。
「住みたい」は 10～40 歳代では 5 割を下回っている。20 歳代女性の「住みたい」が 28.9%と著しく低く、「市外へ移りたい」が 40%と他の年代と比べ高くなっている（別紙 1）。

（ 2 ）今現在、幸せだと思いますか？（報告書 P11）

「幸せと思う」（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 66.6%となり、6 割以上を占めたが、昨年度より 4%低くなっている。一方、「幸せと思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 11.6%となり、昨年度より 1.8%高くなっている。
50 歳代の「幸せと思う」は、他の年代と比べて最も低く、一方「幸せと思わない」は最も高くなっている。

(3) 市が今後目指すべき姿はどれだと思いますか？次の5年間に、市が重点的に取り組むべき分野はどれだと思いますか？（報告書 P15～18）

市が今後目指すべき姿（長期）では、「地震・津波など災害への備えが万全なまち」が65.4%と最も高く、今後5年間（短期）の重点分野でも、「防災・減災」が67.8%と最も高くなっている。
 長期の2番目に高かった「医療・福祉が充実したまち」に対しても、短期の2番目は「保健医療」であり、4番目も「子育て支援」で長期と短期がほぼ一致している。
 20～30歳代は、今後5年間の重点分野として「防災・減災」に次いで、「子育て支援」を2番目に上げている。

順位	今後目指すべき姿 (長期)	今後5年間の重点分野 (短期)
1	地震・津波など災害への備えが万全なまち(65.4%)	防災・減災(67.8%)
2	医療・福祉が充実したまち(58.9%)	保健医療(39.4%)
3	自然環境を大切にしたまち(26.8%)	高齢者福祉(31.7%)
4	子育て支援の充実したまち(23.0%)	子育て支援(27.9%)
5	公共交通が利用しやすいまち(22.1%)	農水産振興(13.8%)

(4) 市役所の運営に求めるものは何ですか？（報告書 P19）

「対応の丁寧さ」が39.4%と最も高く、次いで「コストの削減」が38.2%、「職員能力の向上」が31.8%、「スピード感」が29.0%などとなっている。

(5) 市を市外の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか？（報告書 P21）

「温暖な気候で生活しやすい」が63.8%となり、他と比べ圧倒的に高くなっている。次いで「市内に空港があり便利である」が32.8%、「犯罪が少なく安心して暮らせる」が29.8%などとなっている。
 「市内に空港があり便利である」や「インターチェンジがあり道路交通の便がよい」など、交通の便の良さを紹介する人が多い。

(6) 市からの情報の中でどんな情報を得たいと思いますか？市からの情報を何によって知ることが多いですか？（報告書 P23～26）

市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が74.6%と最も高く、次いで「防災・防犯」が61.3%となった。年齢別では、10歳代で「防災・防犯」が最も高く、30歳代では、「子育て」が他の年代と比べ高くなっている。
 市からの情報を知る手段は、「広報まきのほら」が87.3%と圧倒的に高くなっている。
 10～20歳代は、「家族や知人」から市の情報を得ることが他の年代と比べ高くなっているが、全体的に情報入手手段が他の年代と比べ少ない。

順位	市から得たい情報	市からの情報を知る手段
1	健康・医療・福祉 (74.6%)	広報まきのほら (87.3%)
2	防災・防犯 (61.3%)	家族や知人 (33.9%)
3	生活 (32.3%)	新聞、テレビ、ラジオ (31.0%)
4	環境 (19.3%)	区、町内会の会合 (29.5%)
5	子育て (17.7%)	議会だより

(7) SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を知っていますか? (報告書 P27)

「知らない」が 66.2%と全体の 6 割強を占め、「知っている」は 32.3%と認知度は 3 割程度であった。
 認知度は、20～30 歳代では過半数を占めているが、年齢が上がるにつれて下がっていき、80 歳以上では 1 割未満となった。
 10 歳代の認知度は、35.5%と平均の 32.3%は上回ったものの、20 歳代(73.7%)との開きが大きい。

(8) 市の SNS 情報サイトを利用してみたいですか? SNS 情報サイトを利用しない理由は何ですか? (報告書 P28～30)

「利用意向のある」(「利用したい」(10.3%)+「必要があれば利用する」(42.7%)) 市民は 53.0%となり過半数を超えている。
 「必要があれば利用する」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向で、20～30 歳代では 6 割を超えている。
 「利用しない」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向で、60～70 歳代では 3 割を超えている。
 「利用しない」理由は、「利用する手段を持っていないから」が 48.4%と最も高い。

(9) 市内で、新設・整備する必要がある公共施設はどれだと思いますか? 市内で、統合・廃止する必要がある公共施設はどれだと思いますか? (報告書 P31～34)

新設・整備する必要がある公共施設
 ア 「高齢者福祉施設」が 32.2%と最も高く、次いで「図書館」が 30.8%、「公園」が 23.1%などとなっている。
 イ 男性は「高齢者福祉施設」、女性は「図書館」がもっとも高くなっている。
 ウ 10 歳代、40～50 歳代では「図書館」が、20 歳代、60 歳代以上では「高齢者福祉施設」が、30 歳代では「公園」がもっとも高くなっている。
 公共施設の統合・廃止が必要だという人は、全体の 26%と 3 割未満となった。

(10) 市全体の土地の利用の仕方についてどう思いますか？（報告書 P35）

「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が 44.1%と最も高く、次いで「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かしていない」が 35.1%、「公園などの憩いの場が少ない」が 30.2%などとなった。

男性は「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かしていない」、女性は「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が最も高くなっている。20～30 歳代では、「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が過半数を超えている。

子育て世代である 30 歳代、高齢層の 80 歳代では「公園などの憩いの場が少ない」が他の年代と比べ高くなっている。

(11) 市の活性化には何が必要だと思いますか？市内のどこの場所を活性化したらよいと思いますか？（報告書 P37～40）

市の活性化に必要なもの

ア 「大規模商業店舗」が 37.5%と最も高く、次いで「防災公園、避難タワー」が 36.1%、「観光施設」が 33.3%などとなった。

イ 男性は「大規模商業店舗」、女性は「防災公園、避難タワー」が最も高くなっている。

ウ 10 歳代、30～50 歳代では「大規模商業店舗」、20 歳代、80 歳代以上では「観光施設」、60～70 歳代では「防災公園、避難タワー」が最も高くなっている。

活性化したらよいと思う場所は「空港周辺」が 29.3%と最も高く、次いで「両庁舎周辺の市街地」が 16.2%、「相良牧之原インターチェンジ周辺」が 14.6%などとなっている。

(12) 市はこどもを産み育てやすい環境だと思いますか？こどもを産み育てやすいと思わない理由は何ですか？（報告書 P41～43）

産み育てやすい環境か

ア 「こどもを産み育てやすい環境だと思う」（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 29.9%と 3 割近くを占める一方で、「こどもを産み育てやすい環境だと思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）も 28.3%と 3 割近くを占めている。

イ 男性は、「産み育てやすい環境だと思わない」が「産み育てやすい環境だと思う」をわずかに上回る一方で、女性は「産み育てやすい環境だと思う」が「産み育てやすい環境だと思わない」を上回っている。

ウ 子育て世代の 30 歳代は、「産み育てやすい環境だと思わない」が 53.8%と過半数を超えている。

産み育てやすいと思わない理由

ア 「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」が 77.4%と最も高く、次いで「医療費が無料でないため」（42.4%）、「親子で遊べる施設や公園が少ないため」（36.2%）となっている。

イ 20、40 歳代では、「こどもを一時的に預かる施設が少ないため」が、他の年代と比べて高くなっている。

(13) 浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？

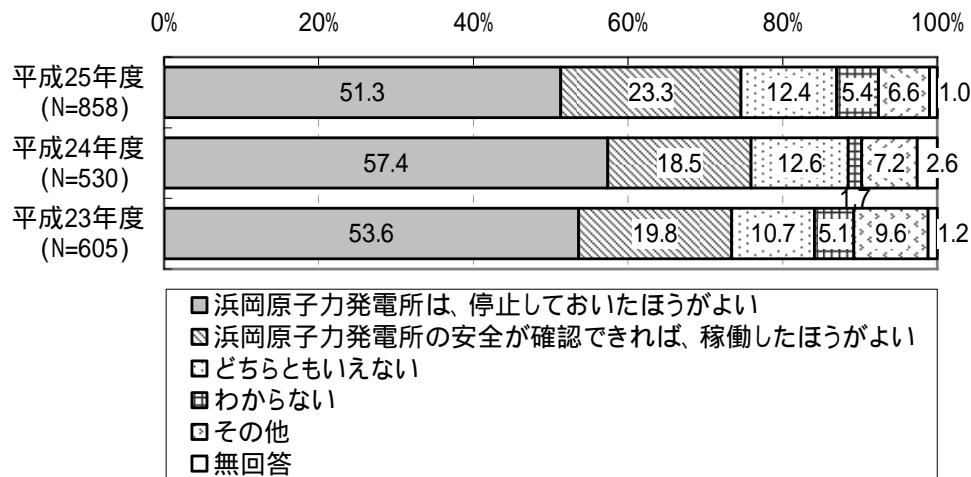
全体

ア 「停止しておいたほうがよい」は51.3%となり過半数を占めたが、前回結果の57.4%より6.1%低下した。

イ 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は、前回結果の18.5%から4.8%上昇し23.3%となり、全体の2割を超えた。

ウ 「その他」の6.6%には廃炉等の意見3.5%が含まれている。

(廃炉等の意見：H24 は3.8%、H23 は6.3%)



男女別 (表：次ページ)

ア 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は、男性が前回結果から9.2%上昇し32.2%と、女性の16.4%を大きく上回り、男女間での差がみられる。

イ 「停止しておいたほうがよい」は、男性が48.8%となり半数を下回った。女性は53.8%であったが、前回回答から8.2%低下した。

ウ 「どちらともいえない」は、女性が16%とH23から増加傾向にある。

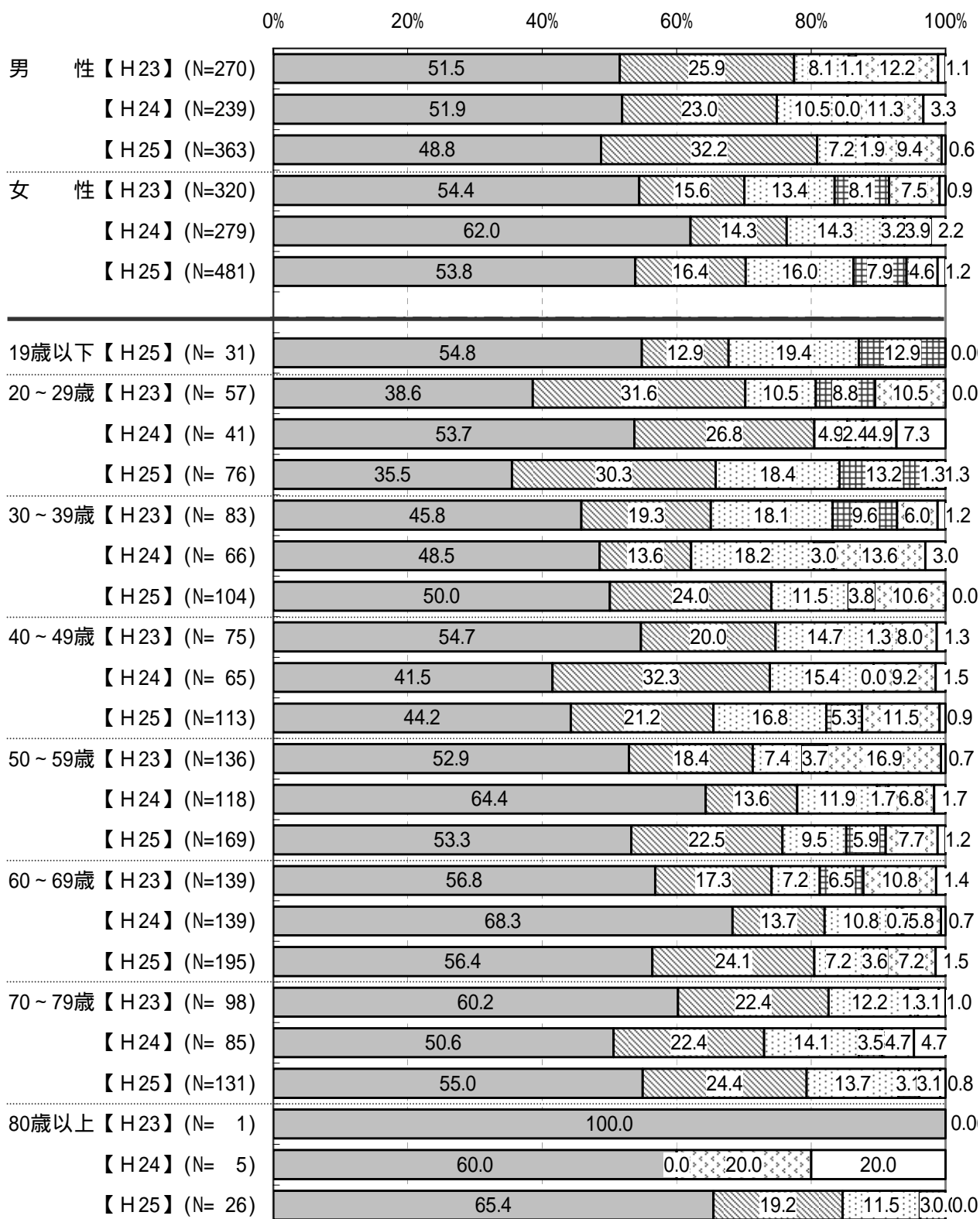
年齢別 (表：次ページ)

ア 初調査の10歳代は、「停止しておいたほうがよい」が54.8%と平均の51.3%をやや上回り、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が12.9%と平均の23.3%を1割以上下回った。「どちらともいえない」が19.4%となり、全年齢でもっとも高くなった。

イ 「停止しておいたほうがよい」は20歳代の35.5%が全年齢でもっとも低く、前回結果53.7%から18.2%と大幅に低下した。50歳代、60歳代でも前回結果から1割以上低下した。

ウ 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」がもっとも高いのは20歳代で30.3%となった。30歳代、60歳代、80歳以上では前回結果と比べて1割以上増加した。

【男女別・年齢別】



浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
 どちらともいえない
 わからない
 その他
 無回答

20 歳代の女性（45 人）

「住み続けたい」28.9%、「市外へ移りたい」40.0%

【他へ移りたい理由】

地震や津波などの被災のおそれがあるから（52.2%）

公共施設や商店がなく生活に不便だから（43.5%）

通勤や通学などに交通面が不便だから（30.4%）

勤めたい会社が市内にないから（21.7%）

「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が、女性の他年代より高く、また、全平均値 31.0%より 12.5%高くなっている。

性年齢別集計（平成 25 年度）

（上段：人、下段：%）

		全 体	住 み 続 け た い	移 市 内 の 他 の 場 所 へ	市 外 へ 移 り た い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		858 100.0	514 59.9	71 8.3	158 18.4	96 11.2	19 2.2
× 性 年 齢 別	男性19歳以下	16 100.0	6 37.5	2 12.5	3 18.8	5 31.3	- -
	男性20～29歳	30 100.0	18 60.0	2 6.7	5 16.7	5 16.7	- -
	男性30～39歳	45 100.0	19 42.2	3 6.7	14 31.1	9 20.0	- -
	男性40～49歳	52 100.0	26 50.0	6 11.5	11 21.2	7 13.5	2 3.8
	男性50～59歳	69 100.0	46 66.7	6 8.7	13 18.8	4 5.8	- -
	男性60～69歳	92 100.0	64 69.6	12 13.0	9 9.8	5 5.4	2 2.2
	男性70～79歳	54 100.0	43 79.6	2 3.7	4 7.4	2 3.7	3 5.6
	男性80歳以上	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	- -	- -
	女性19歳以下	15 100.0	5 33.3	- -	4 26.7	6 40.0	- -
	女性20～29歳	45 100.0	13 28.9	5 11.1	18 40.0	9 20.0	- -
	女性30～39歳	59 100.0	26 44.1	9 15.3	14 23.7	9 15.3	1 1.7
	女性40～49歳	60 100.0	26 43.3	6 10.0	17 28.3	11 18.3	- -
	女性50～59歳	99 100.0	51 51.5	8 8.1	23 23.2	15 15.2	2 2.0
	女性60～69歳	103 100.0	76 73.8	7 6.8	12 11.7	6 5.8	2 1.9
	女性70～79歳	77 100.0	65 84.4	2 2.6	5 6.5	1 1.3	4 5.2
	女性80歳以上	21 100.0	19 90.5	- -	1 4.8	1 4.8	- -